

第1章 情報社会と私たち

1節 情報社会

情報社会と情報



実教出版 情Ⅰ 705
最新情報Ⅰ p4-p5

今回のゴール

「データ・情報・知識」と

「Society5.0」を完璧に

マスターする！



情報 (Information) とは？

見る

- **定義**：事物や出来事の内容や様子を示すもので、受け手に何らかの意味を伝えるもの。

- **役割**：私たちが何らかの行動や意思を決定する際の「**判断材料**」となる事柄。

具体例：

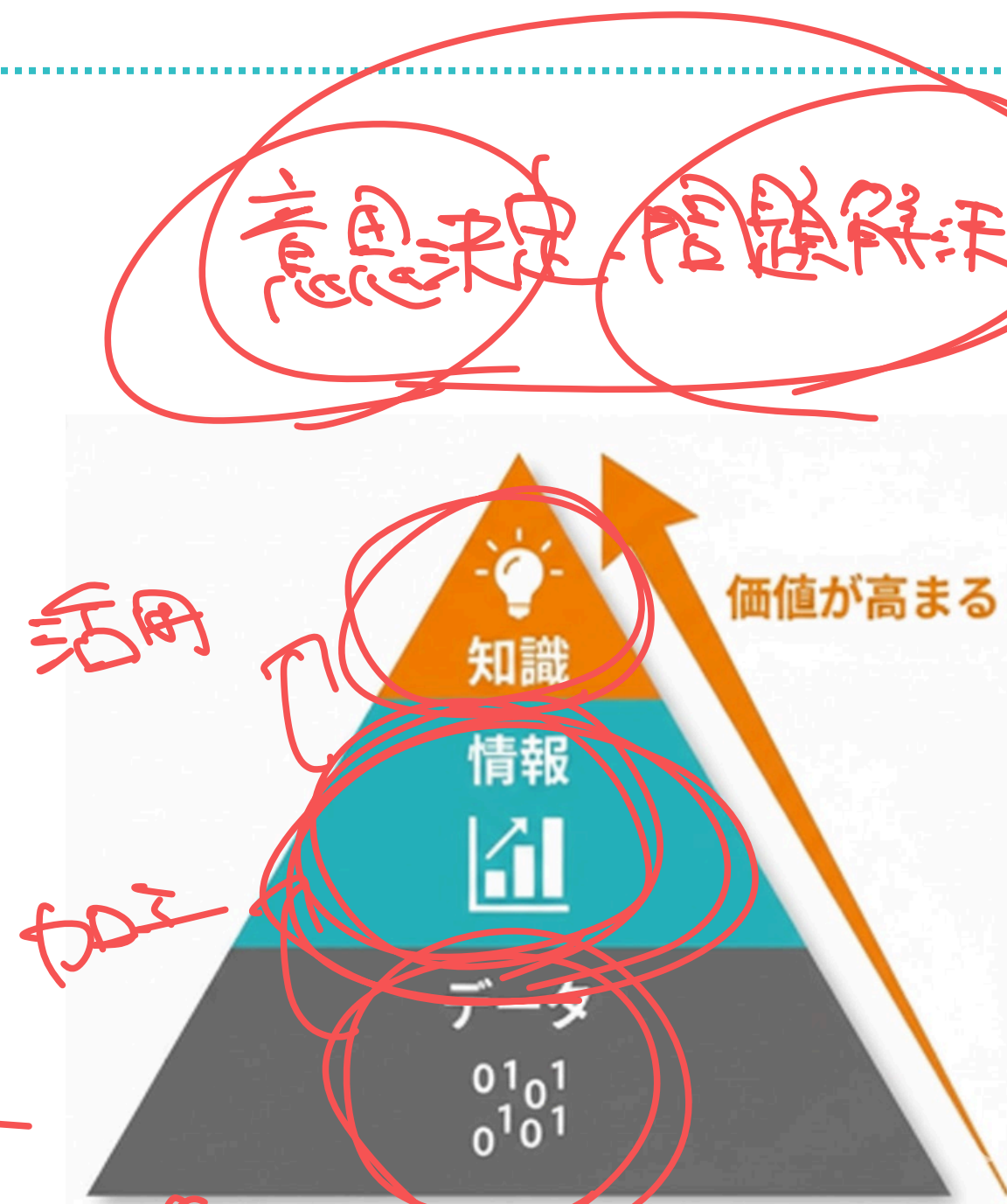
- 商品のカタログスペック (事実: データ)
- 購入者のレビューや評価 (判断材料: 情報)
- 最終的な購入決定 (意思決定)



買う or 買わない

- **データ**：実験、観察、調査などで得られた「事実」。
- **情報**：データを整理・加工し意味を持たせたもの。
- **知識**：情報を分析・体系化し、問題解決に役立つようにしたもの。

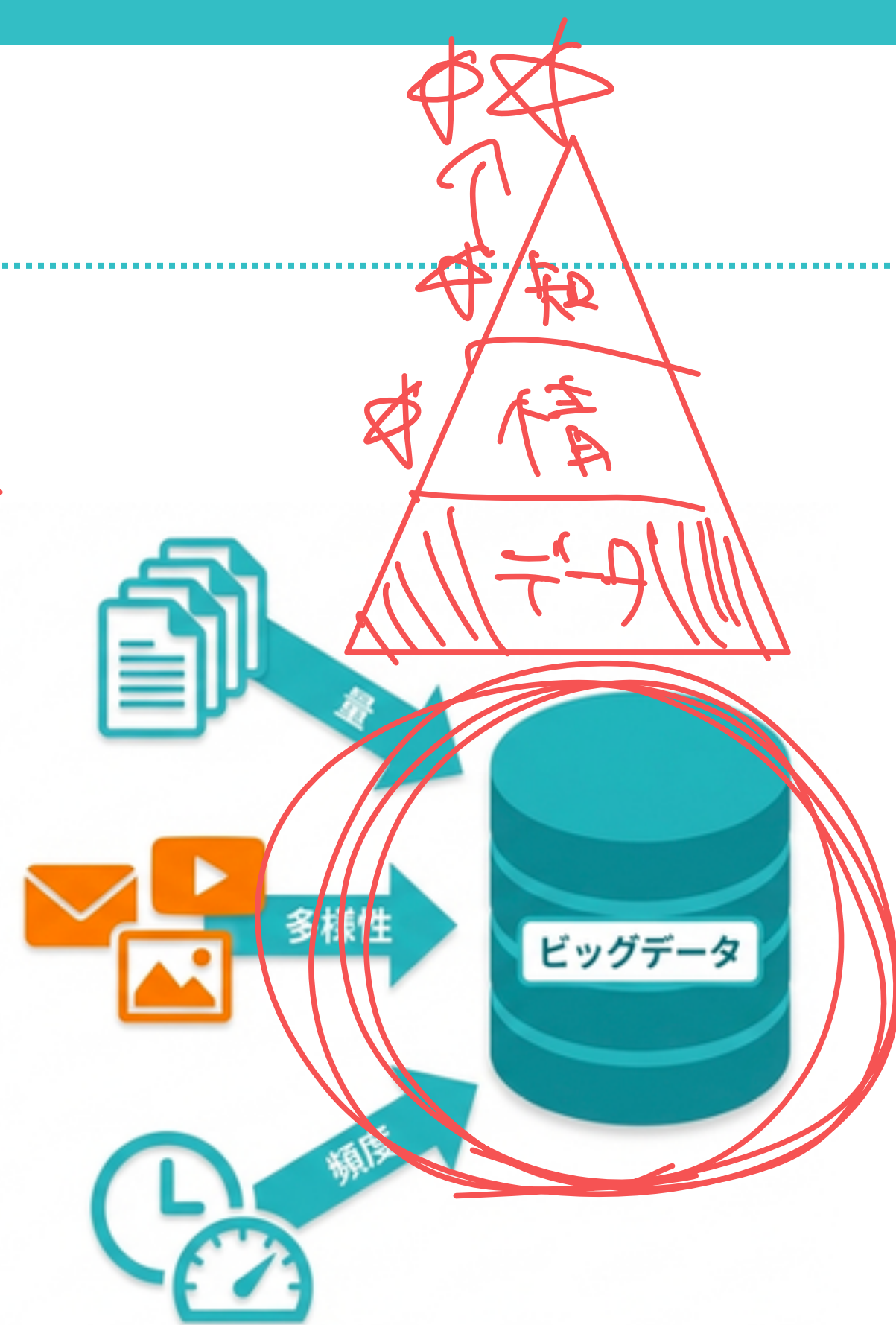
データを情報に変え、知識として蓄積することで社会の問題を解決



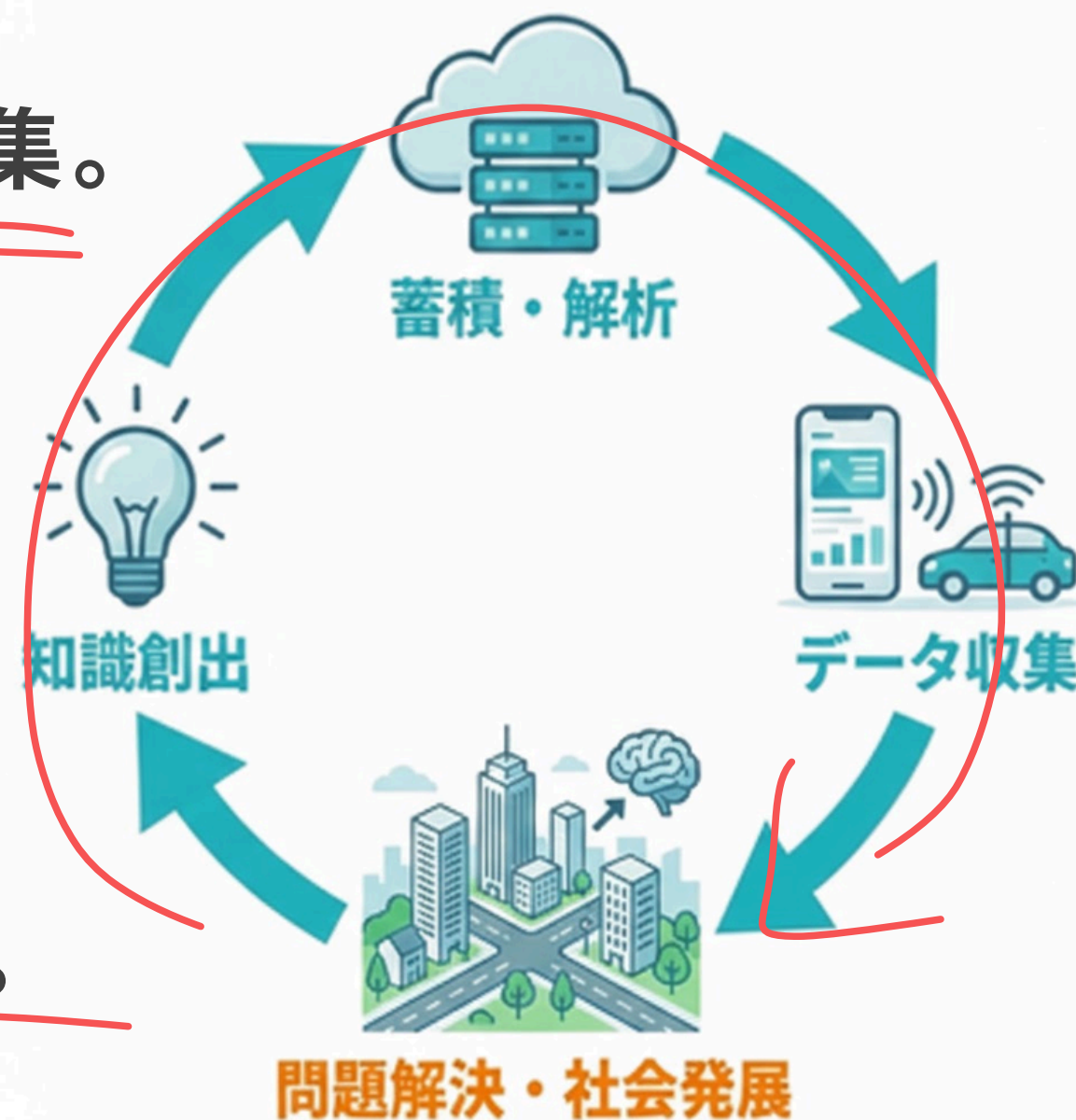
ビッグデータ (Big Data)

覚える!

- 情報技術の発達により蓄積・解析が可能になった膨大で多様なデータの集合体
 - 量：個人の活動やセンサーから発生する膨大なデータ量。
 - 多様性：テキスト、画像、音声、動画、ログなどの多様な形式。
 - 頻度：リアルタイムで刻々と収集・更新されるスピード。
- 電子メールやSNS投稿など形式が定まっていない「非構造化データ」も含む。



- データ収集：人、モノ、自然、社会から収集。
- 蓄積・解析：ビッグデータとして蓄積。
- 知識創出：新しい知見や技術を得る。
- 問題解決：社会課題を解決し、価値を生む。

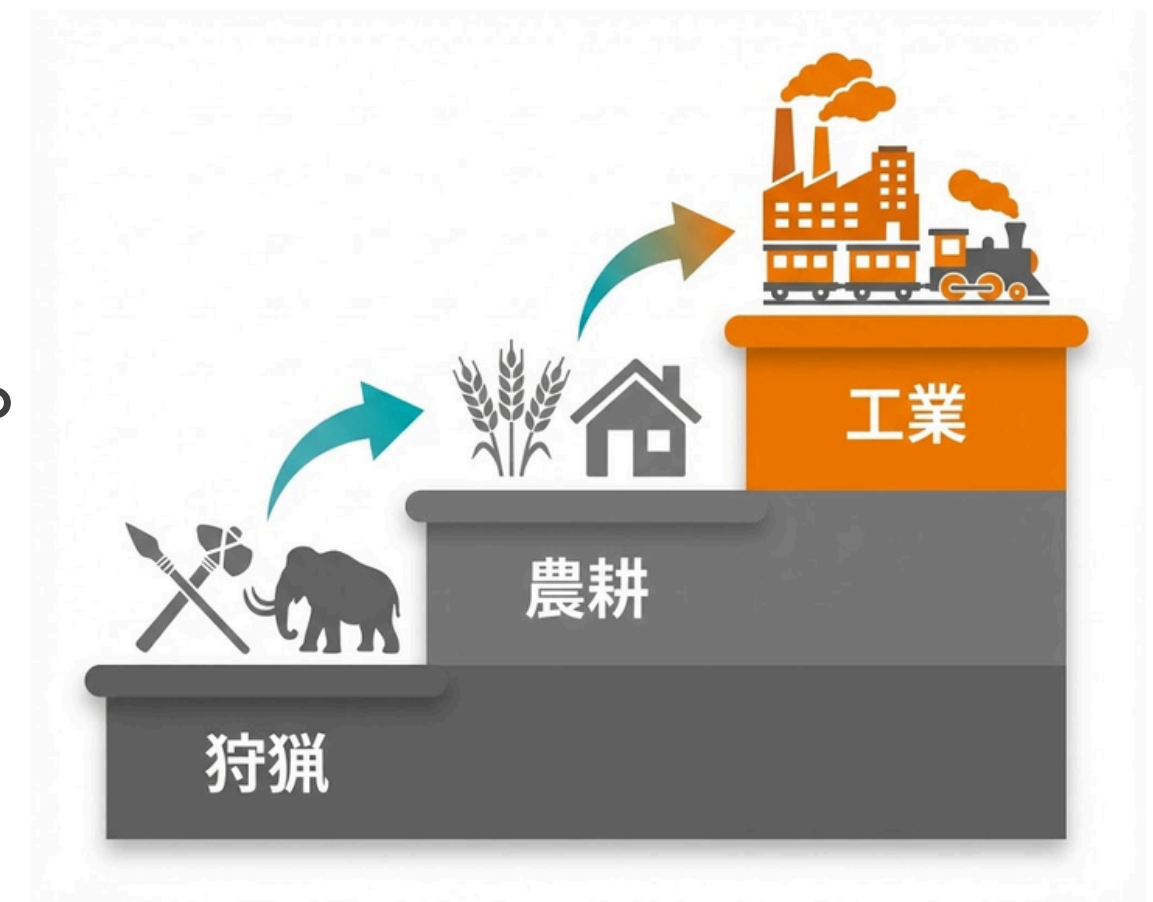


経済成長、社会発展、教育・研究の充実につながる

社会の発展段階（第1～3段階）



- 第1段階：狩猟社会
 - 狩猟・採集。石斧、弓矢、言葉。
- 第2段階：農耕社会
 - 定住・栽培。文字、天文学、かんがい技術。
- 第3段階：工業社会
 - 18世紀半ば、イギリスで産業革命。蒸気機関、工場での大量生産。

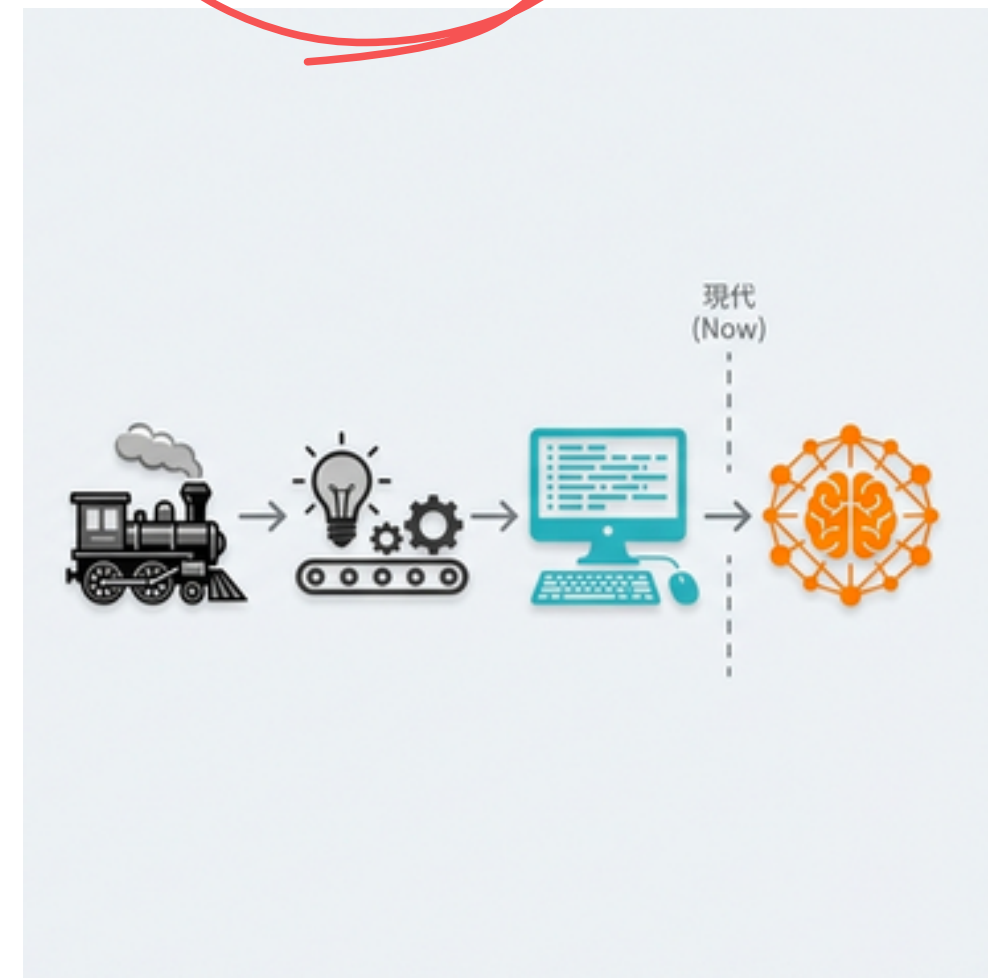


2

産業革命の4段階



- 第1次産業革命：蒸気機関による機械化。
- 第2次産業革命：電力・石油による大量生産。
- 第3次産業革命：コンピュータによる自動化。
 - 第4段階：情報社会が到来。
- 第4次産業革命：AI・IoT・ビッグデータによる自律化。
 - 現在に至る。



↑ 見て子!

IoT ← 家電

- 定義：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステム。
- 目的：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新しい情報社会を目指す。




狩猟→農耕→工業→情報で、次は「融合」のSociety 5.0へ！

今回のまとめ

- データは「事実」、情報は「判断材料」、知識は「解決策」。
- この3段階（データ→情報→知識）の理解が基本。
- 現代は「ビッグデータ」を活用して問題を解決する時代。
- 人類は「狩猟→農耕→工業→情報」と進化してきた。
- 次に来る未来社会が「Society 5.0」。
- Society 5.0のカギは「仮想（サイバー）」と「現実（フィジカル）」の融合。





君ならできます！
頑張って！